



AMCO

## CaseReport

Specialists in the importing and marketing of USA and European medical and scientific products in Japan.

2022.05

24

# サクシオンボール・コアギュレーターを使用した完全鏡視下肺葉切除術

## Complete VATS lobectomy performed with a Suction Ball Coagulator

兵庫県立尼崎総合医療センター 呼吸器外科 医長

### 深田 武久 先生

- 【略歴】
- 2002年 早稲田大学大学院理工学研究科機械工学専攻 卒業(修士)
  - 2011年 山口大学医学部医学科 卒業
  - 2017年 大阪医科大学大学院医学研究科 博士課程 入学
  - 2011年 宇部興産株式会社中央病院 研修医
  - 2013年 兵庫県立尼崎病院 呼吸器外科 専攻医
  - 2016年 大阪医科大学附属病院 呼吸器外科 レジデント
  - 2017年 兵庫県立尼崎総合医療センター 呼吸器外科 フェロー
  - 2018年 兵庫県立尼崎総合医療センター 呼吸器外科 医長

ご所属は2019年当時の情報です



- 【所属学会】
- 日本外科学会 専門医
  - 日本呼吸器外科学会 専門医
  - 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
  - 日本禁煙学会 認定指導医

## ■ はじめに

サクシオンボール・コアギュレーター(以下SBC)には複数の機能(ソフト凝固、カット、吸引、剥離)があり器具の持ち替えが以前に比べ削減でき、手技に集中できることが特筆すべき点である。強固な癒着や重度分葉不全の症例を除けば、術者は鏡視下手術のほとんどをSBCで行うことが可能である\*。

例えばソフト凝固&オートカット(以下 カット)を用いれば軽度の葉間分葉不全や癒着剥離(Fig.1)、また縦隔胸膜を

切離できる(Fig.2)。これまでも報告があるように血管鞘内での肺動脈の剥離やリンパ節郭清も可能である。つまり術者は鉗子、吸引嘴管、通常の電気メスなどに持ち替えることなく、また助手も吸引や止血操作にかかわらず展開を維持できる。その結果、操作の機会損失が少なく、手術時間が短縮でき、術野の血液とサージカルスモークによる汚染が軽減され、術者・助手・スコピストのストレスが軽減されたより安全な手術が可能になる。エネルギーデバイスを含め手術器具数を減らせることでコストパフォーマンスにも優れると考えられる。

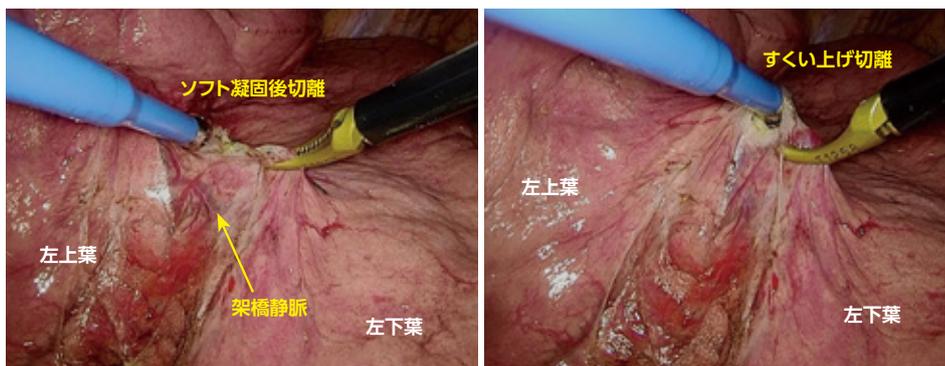


Fig.1 左肺葉間の分葉不全切離

\*カットを行うにはフットスイッチが必要となります。

